

建築物名称	旭化成株式会社 D6Z PI-7,8建設工事 調合棟
受付日	令和5年1月23日
建物所在地	富士市鮫島2-1
構造規模等	鉄骨造／地上3階／延床面6, 055. 98平方メートル／新築
建物用途区分	工場
建築主	富士市鮫島2-1
工事完了予定日	令和5年7月31日

CASBEE®-建築(新築) 2021年SDGs対応版

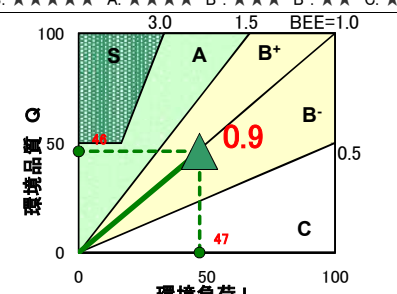
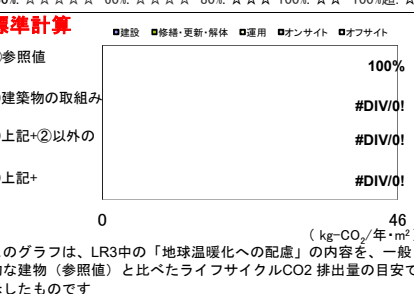
評価結果

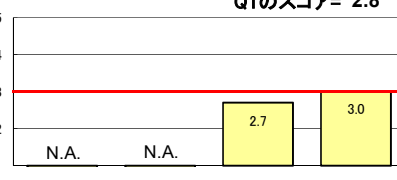
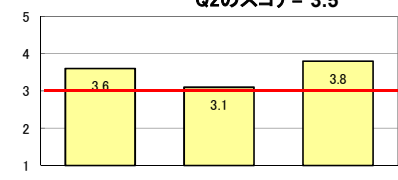
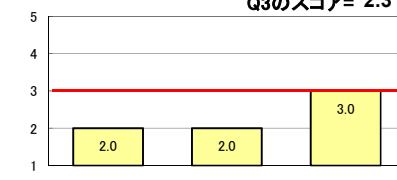
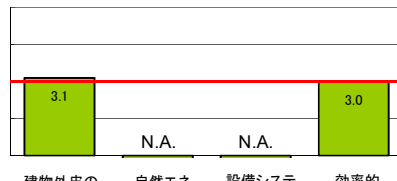
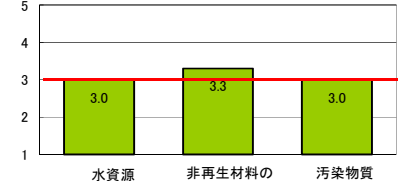
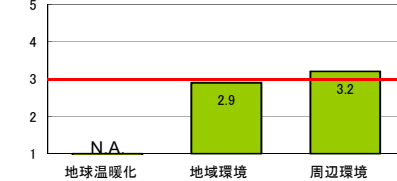
■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	旭化成株式会社 D6Z PI-7.8建設	階数	地上3F
建設地	静岡県富士市	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	20 人
地域区分	7地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年7月 予定	評価の実施日	2023年1月12日
敷地面積	573,778 m ²	作成者	磯和孝史
建築面積	2,393 m ²	確認日	2023年1月12日
延床面積	6,118 m ²	確認者	磯和孝史

外観パース等

図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 建築環境SDGsチェックリスト評価結果
BEE = 0.9 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★ 	標準計算 30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆ ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ 	 3(保健) 2.3 4(教育) 2.0 5(ジェンダー) 1.5 6(水・衛生) 1.9 7(エネルギー) 2.0 8(経済・雇用) 2.3 9(インフラ) 1.7 11(都市) 1.9 12(生産・消費) 2.1 13(気候変動) 2.0 15(陸上資源) 1.8 17(実施手段) 2.4 * SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています

2-4 中項目の評価(バーチャート)			
Q 環境品質 Q のスコア = 2.8			
Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.8 	Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.5 	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.3 	
LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.1			
LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.0 	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2 	LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1 	

3 設計上の配慮事項		
総合 最先端の化学品生産施設として、更新・メンテナンスしやすい敷設とする。		
その他 0		
Q1 室内環境 0	Q2 サービス性能 天井裏点検歩廊・天井面歩行パネルの採用によりクリーンルーム外からもメンテナンスが可能な計画としている。	Q3 室外環境(敷地内) 既存の建物と外装材を統一することで良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー 断熱材を強化し、建物の熱負荷を抑制した。 LED照明を採用し、設備システムの高効率化に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 省水型機器を用いるなど水資源を保護している。	LR3 敷地外環境 広告物照明をつかわないなど、周辺環境に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

1. 建物概要

建物名称	旭化成株式会社 D6Z PI-7.8建設工事 調査棟	BEE	0.9	BEEランク	B-	★★
------	----------------------------	-----	-----	--------	----	----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)	3.0	/5	ふつつ 
“災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)	3.2	/5	ふつつ 
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)	3.8	/5	ふつつ 
“緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)	0.0	/5	がんばろう 
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上 
			ふつつ 3 点以上 
			がんばろう 3 点未満 

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

重点項目		内訳対応項目	
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)		得点	3.0
 ■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率の運用) 断熱材を強化し、建物の熱負荷を抑制した。 LED照明を採用し、設備システムの高効率化に配慮した。 ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善)		Q-1 2 2.1 2.1.2 ① 外皮性能 Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 昼光利用設備 3.2 3.2.1 ③ 昼光制御 Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 躯体材料の耐用年数 2.2.2 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 2.2.3 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 2.2.4 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 2.2.5 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 2.2.6 ④ 主要設備機器の更新必要間隔	
		Q-3 1 ⑤ 生物環境の保全と創出	
		3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上	
		LR-1 1 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制	
		2 ⑧ 自然エネルギー利用	
 ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)		3 ⑨ 設備システムの高効率化	
		4 4.1 ⑩ モニタリング	
		4.2 ⑩ 運用管理体制	
		LR-2 1 1.1 ⑪ 節水	
		1.2 1.2.1 ⑪ 雨水利用システム導入の有無	
 ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)		1.2.2 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無	
		2 2.1 ⑫ 材料使用量の削減	
		2.2 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用	
		2.3 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用	
		2.4 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	
 ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)		2.5 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材	
		2.6 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み	
		3 3.1 ⑬ 有害物質を含まない材料の使用	
		3.2 3.2.1 ⑬ 消火剤	
		3.2.2 ⑬ 断熱材	
 ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)		3.2.3 ⑬ 冷媒	
		LR-3 1 ⑭ 地球温暖化への配慮	
		2 2.2 ⑮ 温熱環境悪化の改善	
“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)		得点	3.2
 ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)		Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 耐震性	
		2.1.2 ⑯ 免震・制振性能	
		2.4 2.4.1 ⑰ 空調・換気設備	
		2.4.2 ⑰ 給排水・衛生設備	
		2.4.3 ⑰ 電気設備	
 ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)		2.4.4 ⑰ 機械・配管支持方法	
		2.4.5 ⑰ 通信・情報設備	
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)		得点	3.8
 ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)		Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱ ユニバーサルデザイン計画	
		3 3.1 3.1.1 ⑲ 階高のゆとり	
		3.1.2 ⑲ 空間の形状・自由さ	
		Q-3 3 3.1 ⑲ 地域性への配慮・快適性の向上	
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)		得点	0.0
 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/②②まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上)		Q-3 1 ⑤ 生物環境の保全と創出	
		2 ②② まちなみ・景観への配慮	
		3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上	
		LR-2 2 2.5 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材	
		LR-3 2 2.2 ⑮ 温熱環境悪化の改善	